

# 福島・東北

ふくしま応援ニュース

## 電気の大切さ分かって

### 幼稚園で紙芝居

#### 地球温暖化防止考える

福島のアポロガスのアポロガスの



楽しみながら地球温暖化防止について考えた園児たち

この日は同社の菅野晶さん(三巴)と加藤さんが同幼稚園を訪れ、年少のうさぎ組と年長のぱんだ組の園児十五人に紙芝居を読み聞かせた。園児たちはかわいらしいイラストの紙芝居を楽しみながら、使っていない部屋の電気をこまめに消すことやエアコンの温度設定に気をつけることが大切だと学んだ。

福島市のアポロガス(篠木雄司社長)は十月二十八日、市内飯坂町のにしね幼稚園で紙芝居を行い、園児たちと地球温暖化防止につ

いて考えた。同社の元気エネルギー供給事業の一環で初めて実施した。紙芝居は「みんなでもまろうぼくたちのちきゅ

う」と題し、太陽光や風力を用いた環境に優しい発電方法を紹介。地球温暖化防止のため電気を無駄にしないことが大切だと伝えてい

る。同社で研修中の加藤泰子さん(三巴)が保育士の経験を生かし作製した。

菅野さんは「今後も幼稚園や小学校で地球温暖化防止と電気の大切さを伝えていきたい」と話した。